

「本山寺山森林づくりの会」活動報告

武田壽夫(文、写真)、山 國 (写真)

日 時：2017(平成 29)年 10 月 15 日(木) 9:30～15:00

気 象：天候=雨(12 時の気温：14℃)

活動エリア：45 林班に-03

活動内容：常緑広葉樹と枯損木の除伐、林床整備、作業道保全

参加者：石原順子、泉家恵子、斧田一陽、小櫃徹夫、後藤和子、杉本佳英、武田壽夫、宮本 廣、山 國

(計 9 名)

<秋霖-秋の長雨-の下で>

気象庁も読み違えることが……、

「雨は午後にはあがる」の予報を頼りに、また、朝方は一旦あがりかけたこともあり、活動地へ。弁当御用達のコンビニ「セブン・イレブン」は解体工事が始まっていて、「買い物」は少し先のスーパー「ピーコック」へ(味は当日の参加者にお尋ねを)。

今日の活動地は「45 林班に-03」、雨が強まれば引上げることにして、作業小屋から近い自然林での作業とする。活動地へは二丁石と三丁石の間、「櫓塚」の地点で自然歩道から分かれ、下り 5 分程の、神峰山寺への道と作業道の分岐を右へ更に 100m 程降った辺り。一寸した支尾根の始まりで、幸いに足下の起伏は少なく、樹林相としては広葉樹が繁り、松の枯木等も混じっている。

天気の方は「予報ハズレ」で終始数mm/h ほどの雨が続き、作業時には気にならないが狙ったように昼食時には強まる憎さで、みんな傘をさしての弁当時間。午後の作業は早目に切り上げ。

<それでも頑張る森林づくり>

この辺りは近場のこともあり、これまで行き届いていなかった場所。広葉樹は常緑の高く繁っているものを選び切り倒して行く。どれも樹冠は思いの外広がっていて、枝掛りが厄介なことはいつも通り。勿論、小径の枯損木も散在するし、足下には玉切りしたままの太い幹も横たわる。また、高い松の枯損木は切り倒そうとすると上部が枝掛りする。ただ、起伏が少ない場所なので成果としては林床整備の面積は約 0.1ha、常緑広葉樹は中径木約 30 本、小径木は枯木も含め多数を除伐、枯損木は松を 1 本ほかと雨の中、捗った一日だった。併せて、枯枝等の整理の中で道も一部通り易く。

<今日の「季節感」—写真編の付録>

雨の中、「紅葉未だし」で季節便りの素材には恵まれず、枝に膨らんだ雨滴とヒイラギの若木の写真を採取出来たに止まるのは残念だが、麓の神峰山寺で始まっている仁王門修復のことはお知らせしたく、帰路、立寄って記録しておいた。一対の仁王像中、向って左の「吽形(?)」は既に他所に移されていて、残る「阿形(だと推測)」はシートに巻かれておられる。他日、修復なった仁王門の姿もお楽しみに。

(本文-以上)

【作業おわり-手許の傘に注目】



【着手前の活動地①】



【着手前の活動地②】



【樹種の確認中】



【画面左に除伐後の幹、中央は塞がった道の復旧】



【中々倒れてくれない枯損木】



【除伐した木は玉切りして棚積み】



【昼食風景-立食には「おにぎり」が便利】



【ご馳走様-デザートはブドウ】



【雨垂れの♪音符♪】



【発見「ヒイラギ」の若木】



【修理中の仁王門(神峰山寺)】

